

# インターネットのガバナンスや社会的問題への JPNICの取り組み

～インターネットが社会と"仲良く"やっていけるように～

2025年6月16日 JPNIC総会・会員フォーラム  
JPNIC政策主幹 前村 昌紀



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2025 Japan Network Information Center

# ▶▶▶ 目次

- グローバルなデジタル政策議論の動向把握と対応
- 国内のインターネット上の社会問題に対する対応
  - その1 漫画海賊版
  - その2 オンラインカジノ
- JPNICのポジション



# グローバルなデジタル政策議論の動向把握と対応



# ▶▶▶ NETmundial+10 (2024/04/29,30 @サンパウロ)

<https://netmundial.br/>

- CGI.br (ブラジルインターネット調整委員会) 主催
- 前村がハイレベル実行委員会 (HLEC)で運営関与
- 2014年のNETmundial会合の10周年検証
- <https://netmundial.br/2014/>
- 国連以外の場所でマルチステークホルダーアプローチ自体を議論する機会

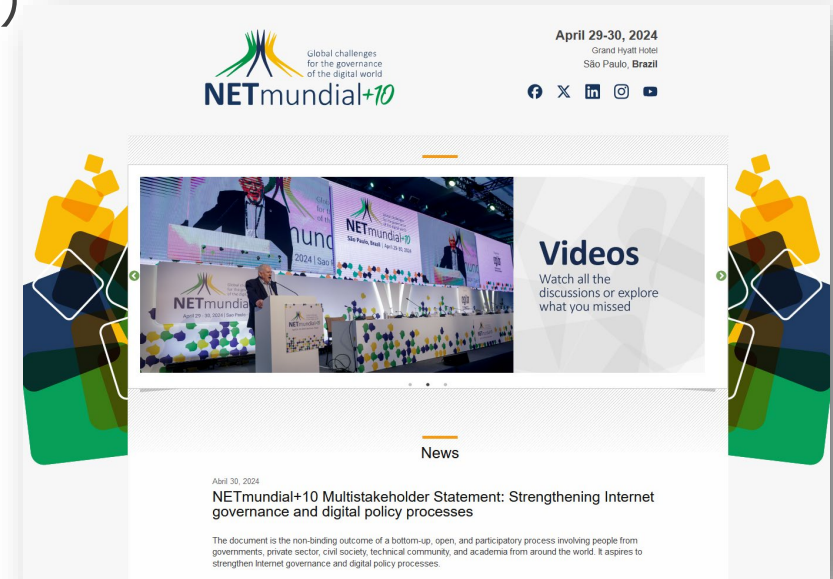


Photo courtesy: Pablo Hinojosa (ex.APNIC)

# ▶▶▶ NETmundial+10マルチステークホルダー声明

<https://netmundial.br/netmundial-10-multistakeholder-statement-strengthening-internet-governance-and-digital-policy-processes>

- 前回以降10年間の変化を勘案して、2014年声明を検証
- 「インターネットガバナンス」を「インターネットガバナンスとデジタル政策」で置き換え
- 2014年声明の有効性を確認した上で、詳細で具体的な「サンパウロマルチステークホルダーガイドライン」を提示
  - 13の具体的なガイドライン項目
  - 12の具体的なプロセスステップ
- IGF、GDC、WSIS+20レビューなどのプロセスに進言
- JPNICからの情報発信
  - 成果文書公開のアナウンス：  
<https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2024/20240502-01.html>
  - 和訳：  
<https://www.nic.ad.jp/ja/translation/governance/20240430.html>

# ▶▶▶ グローバルデジタルコンパクト(GDC) (2024/09/22)

JPNICブログで詳解しています：<https://blog.nic.ad.jp/2024/10062/>

- 国連事務総長が2021年9月に発表した「我々の共通課題 (Our Common Agenda)」の12のコミットメントのうちの1つ
  - それ以降3年間にわたって検討
- 2024年9月の国連「未来サミット」の成果文書「未来への協定」の一部として採択
  - 全文36ページのなかでGDCが16ページを占める
  - 4月の0版以降5回の改版を経て合意に至る
  - ビジネスセクター、市民社会、技術コミュニティでは改版のたびに内容をチェックし、必要に応じて意見表明、コンサルテーションを要求
- インターネットガバナンスに関しては「拡大協力\*」という言葉が付け加わったものの、概ね穏当な内容に収まる
  - \* 一部政府がIGに対する政府の更なる関与と解釈する玉虫色の用語
- データガバナンス、AIに関して紙幅が費やされるとともに、民間の専門家や事業者への要請が多数含まれている

# WSIS+20（世界情報社会サミット20周年レビュー）（～2025/12）

- WSISチュニス会合が成果文書をまとめて閉会したのが2005年。10年ごとにレビューを行い、20周年レビューは2025年の国連総会に向けて作業が進む
- IGFの活動年限の延長、IGFリーダーシップパネル、デジタル協力フォーラムなどの新機構の展開などに注目が集まる
- 2025年5月に、起草手順と2025年12月の国連総会での採択までのタイムラインが公表され、第1回準備会合が開催。
  - 8月にゼロドラフト公開
  - ステークホルダーコンサルテーションの実施が明記
  - 政治的立場によらずIGF継続には賛成が大勢

<https://publicadministration.desa.un.org/wsis20/Preparatory%20Process%20Roadmap>

## Important Dates

| Date                  | Meeting / Milestone   | Venue / Details   |
|-----------------------|---|---|
| 30 May 2025           | <a href="#">1st Preparatory Meeting &amp; Stocktaking Session</a> | Conference Room 1, UNHQ   |
| 9-10 June 2025        | <a href="#">Consultations with Stakeholders</a>                   | Virtual: <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">9 June</a>, 8-11pm EST</li><li>• <a href="#">10 June</a>, 10am-1pm EST</li></ul>   |
| 20 June 2025          | Elements Paper  | Written inputs until 15 July  |
| June/July 2025        | Consultations with Stakeholders and Member States                 | Various locations <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">UNESCO</a>, 4-5 June 2025</li><li>• <a href="#">IGF</a>, 23-27 June 2025</li><li>• <a href="#">WSIS Forum</a>, 7-11 July 2025</li></ul> |
| August 2025           | Zero Draft  | Written inputs until 15 September   |
| Mid-October 2025      | 2nd Preparatory Meeting   | UNHQ  |
| Mid-October 2025      | Consultations with Stakeholders                                   | Virtual   |
| October/November 2025 | Informal Negotiations   | UNHQ  |
| November 2025         | Draft Outcome Document  |   |
| November 2025         | Consultations with Stakeholders and Member States                 | UNHQ  |
| 16-17 December 2025   | High-level meeting of the General Assembly                        | UNHQ  |

# ▶▶▶ インターネット技術コミュニティの立ち位置と意見表明

- インターネット技術コミュニティ  
= インターネット基盤運営調整に携わるコミュニティ
  - インターネットの価値を第一義とする
  - IANA監督権限移管により、運営に携わる関係者の自治体制が確立
- TCCM（マルチステークホルダー主義を支持する技術コミュニティ連合）として、GDC, WSIS+20などの国連プロセスに対する意見表明などを連携・協働



# TCCM マルチステークホルダー主義を支持する技術コミュニティ連合

- 一部のccTLDレジストリのグループ(.au, .ca, .nz, .uk)が中心となり、現在JPNICを含む37団体が加盟
- 2024年度8件の意見表明。  
以下その要点を列挙
  - マルチステークホルダーアプローチの固持
  - IGFの役割強化
  - GDC, WSIS+20のプロセス透明化の要請

<https://www.tccm.global/>

The screenshot shows the TCCM website homepage. At the top left is the TCCM logo with the text 'A Technical Community Coalition for Multistakeholderism'. To the right are navigation links: 'Home', 'Who we are', 'Our work', and 'Contact us'. The main heading reads 'Global Internet governance is at an inflection point'. Below this is a paragraph: 'Two key dialogues led by the United Nations—the Global Digital Compact (GDC) and the World Summit on the Information Society (WSIS)+20 Review—could weaken multistakeholder Internet governance in favour of an increased role for governments.' Another paragraph follows: 'Multistakeholder Internet governance involves all stakeholder groups—governments, civil society, academia, the private sector and the technical community—in decisions about how the operational aspects of the Internet are managed, on equal footing.' The sub-heading is 'A Technical Community Coalition for Multistakeholderism'. At the bottom, a paragraph states: 'TCCM is a coalition of technical operators from across the globe advocating for an evolved and strengthened multistakeholder approach to Internet governance to keep the Internet open, free, global, secure, resilient and interoperable for all.' There are also icons for accessibility and a scroll-to-top button.



# その他のインターネット・デジタル政策の注視

- 各国のインターネット・デジタル政策の動向に注視、必要に応じてより深い情報収集をしています
  - 日本の省庁、国連、米国、ブラジル、EUなど
- ブラジルの電気通信規制強化法案：PL 4.557/2024
  - <https://www.linkedin.com/pulse/perigosa-mudan%C3%A7a-na-governan%C3%A7a-da-internet-brasil-uma-wardner-maia-afywf/>
  - ブラジルインターネット調整委員会 (cgi.br) (ブラジルの関係者ががマルチステークホルダーアプローチの理想形と誇りにしている) を電気通信規制当局(ANATEL)の管理下に置く条項を含む
  - 近々下院通信委員会で公聴会が開かれるとのこと
- 欧州連合「ProtectEU」セキュリティ戦略5年計画
  - エンド・トゥ・エンド暗号化(e2ee)された通信に対して、法執行機関によるエンドポイントでの情報傍受を合法的に行う仕組みを確立する、とするもの
  - JPNICでは、理事会レベルの検討の結果、情報セキュリティに対して脆弱性を持ち込みえると判断し、ISOCが呼び掛けていたGlobal Encryption Coalitionの反対声明に参加
    - <https://www.globalencryption.org/2025/05/joint-letter-on-the-european-internal-security-strategy-protecteu/>



# 国内のインターネット上の社会問題に対する対応



# ▶▶▶ その1 漫画海賊版 (2018—現在) (1/2 全体像)

- 2018年内閣がISPによるブロッキングが適当とする声明を発表。  
これに対して見解を表明
  - <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2018/20180412-01.html>
- 2018年、内閣府知的財産本部が事務局を務める「**インターネット上の海賊版対策に関する検討会議**」に構成員として参加。ブロッキング賛成派・反対派が対立する中、報告書を取りまとめないという手法でブロッキング法制化を阻止
- 以降、政府は「**インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表**」を発表、7省庁で対応を進める。
- 出版業界を中心とする対策会議では、法執行機関、外交ルート、通信仲介者（ドメイン名レジストラ、CDN、サーチエンジン）へのアプローチを始めとする、を推進。
  - これに対して、インターネットあらゆる対応基盤運営の立場から議論に参画

# ▶▶▶ その1 漫画海賊版 (2018—現在) (2/2 対策会議では)

- 海賊版が利用するドメイン名の登録から海賊版事業者の同定を試みるも、登録データ開示の困難、正確性の欠如などが事業者同定の障害
  - ICANNにおけるgTLD政策を調査し、ICANNの運営に参画している立場から、登録ポリシーの内容と解釈、対処における関係者へのアプローチの支援などの観点で、支援
  - GNSO（分野別ドメイン名支持組織）での部会への参加、地域イベントへの参加、ICANN事務局幹部、レジストラなど関係者との交渉推進などで、問題解決に向けた支援を継続
- その他、海外関連団体・事業者との協力・対応要請などを行った

## ▶▶▶ その2 オンラインカジノ (2025—現在)

- 2020年、オンラインカジノによるギャンブル依存症の問題が多発し、衆議院で質問が提示される。以降ブロッキングを含む対策に関して国会での議論が活発化
- 2025年、総務省が「オンラインカジノに係るアクセス抑止の在り方に関する検討会」を設置、現在検討中。
  - [https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/kenkyu/online\\_casino/index.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/online_casino/index.html)
  - JPNICも構成員として参画
  - ICANN SSAC (セキュリティと安定性に関する諮問委員会) が最近公表したSAC127「DNSブロッキングの再考」を資料として提出し、インターネットの考え方から、ブロッキングの問題点などを指摘
    - SAC127 DNS Blocking Revisited <https://itp.cdn.icann.org/en/files/security-and-stability-advisory-committee-ssac-reports/sac127-dns-blocking-revisited-16-05-2025-en.pdf>



# JPNICのポジション



# ▶▶▶ JPNICのポジション

- インターネットの考え方 (Internet Way) を尊重し、社会問題の解決に向けて取り組みます
- グローバルインターネットの運営に関与する立場から
  - インターネットが引き起こす社会問題には積極的に協力・関与し、皆さんの疑問に答えていきます
  - 国内の関係者からの声を、グローバルな場に届けます
- JPNIC会員や関係者の皆さんと考え方を共有、連携しながら、多様な社会とともに歩むインターネットを育てていきます。

# ▶▶▶ ありがとうございます

質疑応答では、このようなJPNICの活動に関して、  
会員の皆さんのお考えを伺えれば幸いです。

**インターネットのガバナンスや社会問題に対するJPNICの取り組み**  
～インターネットが社会と仲良くやっていけるように～

2025年6月16日 JPNIC総会・会員フォーラム

JPNIC 政策主幹 前村 昌紀